

第 4 回 SSH 国際交流講演会 「国がなくなる？キリバス共和国と地球温暖化」

令和 6 年 10 月 9 日 (水) 16:00～18:00 に、5 階多目的室 CD で第 4 回 SSH 国際交流講演会が実施され、生徒約 50 名が参加しました。今年度 4 回目の講演会の講師は、日本人として初めてキリバス国籍を取得したケンタロ・オノ氏で、演題は「国がなくなる？キリバス共和国と地球温暖化」でした。

ケンタロ・オノ氏(一般社団法人日本キリバス協会代表理事, 前キリバス共和国名誉領事・大使顧問)

ケンタロ・オノ氏は仙台市に生まれ、幼少期から熱帯の海や島に憧れを持つ。小学 5 年生のときにテレビ番組でキリバスを知る。それ以来キリバスに興味を持ち、キリバスに移住し高校に一人を通う。そして 23 歳の時日本人で初めてキリバスに帰化する。東日本大震災を機に日本に移住し、地球温暖化や海洋プラスチック問題についての講演を様々な学校で行っている。



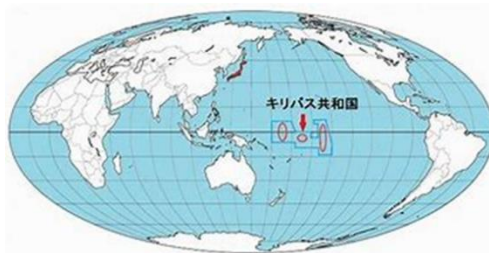
キリバスの海

講演について

今回の講演はキリバスの魅力の紹介から始まりました。キリバスの魅力は何と言っても綺麗な海！人のあたたかさについてもキリバスへの興味が高まるお話をたくさんしていただきました。キリバスの方は親切にするのもされるのも当たり前だそうです。そんな素晴らしい国であるキリバスが地球温暖化によって沈む危機に瀕しています。地球温暖化は人間が引き起こした人災であること、決して人ごとでないことがケンタロさん熱い思いのこもった講演で胸に深く響きました。



私たち個人ができることをしていこうという思いになった生徒が多くいると思います



講演後、オノ氏に質問しました。

～Q&A～

Q. 「温暖化を止めるためには諦めないことが一番大切だと講演の内容にありましたが、夢を追いかけ続けるために必要なマインドにはどのようなものがあるのでしょうか？」

A. 「とにかく夢を追いかけ続ける理由を忘れないことが大切だと思います。前をみて進み続ければいつかその夢に追いつく日が来ると思っています。

Q. キリバスで過ごしていて一番楽しかったことはなんですか？

A. 何気ない日常会話のなかで、毎日腹の底から笑っていられたことです。

～参加者の感想～

地球温暖化は誰も止められない、自分一人では無理だと希望を捨てた見方をしていたが、たくさんの方が諦めるのはたくさんの命を、未来を諦めることなのだと知ることができました。行動を起こし希望を捨てず、どう地球を守っていくか考えていこうと思いました。(2年)

海と切っても切れない自分の故郷がその海によって失われることを想像するととても胸が痛くなった。キリバスで起こっていることを決して他人事だとは思わずに同じ地球に住む人間として、温暖化を食い止めるために自分にできることを積極的に行っていきたいと思った。(2年)

地球温暖化の被害というと、日本では少し夏に暑くなったくらいにしか感じられないけど、日本の外に目を向けてみると故郷がなくなってしまうたり、人で亡くなったりしてしまっていると知って、地産地消などの自分でできる範囲から地球温暖化を抑えられるようにしたい。(2年)

軽い話から国際的な問題まで、講師の方の話が興味深く最後までひきこまれた。日本語と英語（キリバス話もをほどよく混ぜてお話ししてくださったので、キリバスについてたくさんのことを理解することができた。何か国際問題に関わりたと思わされた。(2年)

地球温暖化が global warming というように、キリバスに起っていることは世界規模の問題であって、人間が何もしなければ、今後同じことが必ず世界中で起こる。これが遠い未来の話ではなくて数年、数十年後の話なのだという現状を知ることができた。普段からできることは進んで行こうようにしたい。

《編集後記》

今回の SRtimes をまとめるなかで、地球温暖化の深刻さを実感し、自分にできることをしようと意識が変わった人が多くいるとわかった。この SRtimes を読んで講演に参加できなかった人も、キリバスと地球温暖化に興味をもってくれるとうれしい。



講演後オノ氏に質問をする生徒